

## ご挨拶

理事 鎌田 賢



本年2月14日付けで中山前理事の後任として就任しました。よろしくお願いいたします。

本研究所は、平成13年度に独立行政法人に移行して本年度で5年目を迎え、中期計画の最終年度となりました。

今年度は、今年度を含めこの5年間、当初の中期目標に照らし、国の施策課題に対し着実かつ的確に研究活動を実施してきたか、学校や教師の方々が抱える現実的課題や要望に適切に応えられたか、障害のある子どもたちや保護者の方々にとって意義のある事業活動を展開してきたか、など様々な視点から自己評価しつつ、中期計画全体を総括することになります。この間皆様からいただいたご指導、ご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

既にご承知のとおり、我が国における障害のある子供の教育は、「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換しつつあります。

この重要な時期に、本研究所が「我が国唯一の特殊教育のナショナルセンター」として、時代の変化や諸要請に機敏に対応し、その力を遺憾なく発揮することが求められていると考えております。

微力ではありますが、我が国の特殊教育・特別支援教育の振興のため最大限の努力をする所存でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 研究活動

RESEARCH

### ①平成16年度終了のプロジェクト研究

#### ◆障害のある児童生徒等の教育の総合的情報提供体制の構築と活用に関する実際研究(平成16年度)

研究代表者 渡邊 章(教育研修情報部総括主任研究官)

近年の急速な社会の情報化の進展に伴い、障害のある児童生徒の教育に関する情報提供体制を整備していくことは、重要な課題のひとつとなっています。本研究では、次の検討を行いました。

#### 1) Webサイトによる情報提供の在り方の検討

都道府県・指定都市の教育委員会、特殊教育センター、盲・聾・養護学校のWebサイトによる情報提供の現状に関する調査を行い、今後のWebサイトによる情報提供の在り方について検討を行いました。

#### 2) Webアクセシビリティの向上に関する検討

盲・聾・養護学校のWebサイトのアクセシビリティの現状について調査を行い、アクセシビリティの向上のためにどのような取組が必要かを検討しました。

#### 3) eラーニングの活用に関する検討

モデル講習会を実施し、障害のある子どもの教育の分野におけるeラーニングの効果的な活用方法について検討を行いました。

これらの取組の成果は、平成17年3月に研究報告書として刊行するとともに、本研究所のホームページの改善にも反映しています。